京都式「教職員の働き方改革・学校業務改善システム」の構築【イメージ】

資料3

■ ねらい ＝ 成長し続ける業務改善システム

① 変化の激しい時代に対応できる勤務環境を実現するため、業務改善の取組を継続的に実行
② 業務改善のPDCAサイクルを定着させ、業務改善の実効化と教員の意識改革を実現

学　校

校長

【目標】
○京都式チーム学校の実現
○現場発想に基づく業務改善の継続的な実行・定着

【取組】
○教職員の出退勤時刻の把握、長時間勤務の原因の分析
○教職員からの業務改善提案の集約、改善策の議論
○校長のリーダーシップによる業務改善、業務運営方針の策定
○学校評価と連動した業務改善のPDCAサイクル
○学校で実行できない業務改善の教育委員会への提案

教職員

【目標】
○自己の資質・能力を高めるための時間の確保
○セルフマネジメント力や改善提案力などの育成

【取組】
○セルフマネジメントや自己健康管理の実行
○チーム学校を意識したコミュニケーションの実行
○現場発想に基づく業務改善の提案

市町（組合）教育委員会

○対策推進担当部署を明確化
○市町としての業務改善ポリシーを策定
○教職員の出退勤管理システムを導入
○市町で可能な業務改善を実行
○市町で実行できない業務改善を提案

教育局

○地域別推進協議会を設置
○管内の業務改善策を検討
○管内で可能な業務改善を実行
○管内で実行できない業務改善を提案

京都府教育委員会（本庁）

効果測定

エビデンスに基づく施策を立案するため、勤務実態調査などの調査等により、勤務実態や取組効果を測定

【取組】
○府の業務改善ポリシー（KPIを含む）の策定、府の部活動指針の策定
○学校体制の整備、ワークルールの策定、府全体の業務改善の実行
○京都式「教職員の働き方改革・業務改善システム」の構築（PDCAサイクル）
○困難な業務改善提案の実現に向けた継続的な研究・検討